
変化の魔法

立花友香

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
変化の魔法

【Nコード】
N8071D

【作者名】
立花友香

【あらすじ】
魔法使いの弟子ラッセルは二つ隣の国のお姫さまに恋をする。そこでラッセルは変化の魔法を魔女に教わるが…

街の外れにある小さな森の入口に魔法使いが住んでいた。
魔法使いには弟子が一人いた。
弟子の名はラッセルという。

ある日ラッセルが森へ入り薬草を取っていると美しい歌声が聞こえて来た。

銀の鈴のような歌声は池の方から聞こえて来る。

ラッセルが木の陰からそっと見やると、可愛らしい少女が池で水遊びをしている。

ラッセルは一瞬にしてその少女に恋をしてしまった。

ラッセルは毎日のように少女の歌声を聴きに行った。

しかし小心者なラッセルは木の陰からこっそりと見つめるだけ。

彼女と面と向かって話が見たい、そう強く思うのだが、木陰から覗くだけの日が続いた。

2

ある日ラッセルは魔法使いに頼み込んで変化の魔法を教わった。
変化の魔法はそれほど難しくはない。

変えたい姿をしっかりと想像できれば簡単に変化できる。

しかし、元に戻るときも自分の姿を想像できなければならぬ。

長時間は変化したままではないように、と魔法使いは注意した。

ラッセルは早速、馬に変化した。光りの加減によっては銀色にも見える純白の毛並みを持った白馬だ。

そして池へと駆け出した。

少女が池の水で足を濡らしながら歌を歌っていると、一頭の馬が現れた。

その馬は銀の白馬。

「あらおまえ、どこからきたの？」

少女は尋ね、たてがみを撫ぜる。

この馬はもちろんラッセルである。ラッセルは天にも昇るような気持ちだった。

日が暮れるまで少女の銀の歌声を少女の隣で聞いていた。

それからラッセルは毎日変化をして少女へ会いに行った。

ある時は馬になって、ある時はファイアより美しい青い羽を持った小鳥になって、ある時は虹色に光る蝶になって。

そうして少女と時間を共にしているうちに、少女が二つ隣の国のお姫様であることが分かった。

少女はこっそり城を抜け出して一人だけお供を連れてこの森に遊びに来ているらしい。

それを聞いたラッセルは魔法使いの弟子を辞め、少女の住む城へ向かった。

城に着いてラッセルは蝶に変化した。

そしてひらひらと宙を舞い、城の中へ入りお姫様である少女の部屋を探した。

少女は部屋の中にいてその美しい髪を梳っていた。

ラッセルは少し開かれているドアの間から部屋に入り、少女のまわりを七色の羽を光らせて舞った。

「あら！森で会ったちょうちゃんね。よくここが分かったわねえ！」

と少女は喜んだ。

するとラッセルは青い羽の小鳥に変化して少女の肩にとまった。

「まあ！おまえはあの小鳥だったの？！」

そして今度は驚いている少女の肩から絨毯に下り、白馬に変化した。

「なんてこと！おまえもだったの？！」

そして今度は自分の姿に戻ろうと思ったが、ふと思いついて隣の国の王子に変化した。

「私は隣の国の王子です。私は魔法使いに魔法をかけられ、動物の姿をしていました。そして、魔法を解くには恋をしなければなりませんでした」

ラッセルは続けた。

「しかし、あなたに出会い、恋をしました。そして人間の姿に戻ることができました」

ラッセルは少女の手をとって、キスをした。

「結婚して頂けませんか？」

少女は美しい王子に頬を染め、喜んで、と返事をした。

式は盛大に行われた。しかし、そのため本物の隣の国の王子にこのことが知れ渡ってしまった。

そんなこととは露とも知らず、王子の姿をしたラッセルは少女と恋を語っていた。そして自分の姿に戻る必要はもうないと思いつつと王子の姿のままだった。

ある日、本物の王子が兵を率いて少女の城にやってきた。

王様と少女とラッセルのいる前で自分が本当の隣の王子だ、と名乗った。

だから自分と結婚をさせて欲しい、と言った。王子も少女のことが好きだったのだ。

ラッセルは真っ青になった。自分が本物でないとすぐにばれてしまう。ばれてしまえば殺されてしまう。

隙をみてラッセルは城を逃げ出した。

逃げて逃げて故郷の森、魔法使いの住む森までたどり着いた。森の入り口にある魔法使いの家に駆け込んで、助けを求めた。

しかし魔法使いは、自分は王子様などを弟子にした覚えはない、と行ってラッセルがどう説明しても助けてくれない。

もとの姿に戻りたくても、ずっと王子の姿だったので自分の姿を思い出せない。

そうこうしているうちに、追っ手がやって来てラッセルの首を剣で

ちよん斬ってしまった。

その頃、少女は本物の王子と式を挙げていた。

(後書き)

隣の国のHNNをさがせばあべにほむなをさかすんでいひこよひに...

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8071d/>

変化の魔法

2010年10月10日04時07分発行